

## 上天草市に行きたくなる！

## ア ターゲットを設定した観光メニューの開発

事業名	概要等	備考
ターゲットを絞った旅行開発	<p>【女性ターゲット】</p> <p>1) 女性の上天草のニーズ調査の実施 …流行に敏感な女性のニーズ・ウオントを的確に把握するため、福岡などの大都市圏においてニーズ調査を実施し、内容の分析により、具体的な施策に反映させる。</p> <p>2) 各宿泊施設が女性を意識したアメニティーグッズの充実を図る。</p> <p>【スポーツ合宿・教育旅行をターゲット】</p> <p>1) ステークホルダーである合宿専門旅行会社への営業強化。</p> <p>2) ターゲットを絞った提案型スポーツ合宿の営業強化。</p> <p>3) 受入施設のおもてなし強化。食事メニューの統一化。</p> <p>4) 「合宿＋観光」型のプラン作成。</p> <p>5) スポーツの森づくり推進協議会によるスポーツ合宿の誘致・拡大。 (フォレストリースと連動したバレー合宿の充実、その他のスポーツの誘致・拡大等)</p> <p>6) 合宿宿泊者の補助金の利用促進(周知拡大)</p>	地方創生先行型で実施
ポジティブ渋滞事業	将来的には交通網の充実を図る。 しかし、1年や2年で渋滞が緩和されるわけではないため、逆に「渋滞を楽しむツアー」を作る。 例)お座敷バス、屋形船、A列車にちなんだAバスなど	推進会議におけるワークショップでの提案

## イ 観光客誘致に向けたイベント・プロモーション

事業名	概要等	備考
VISITあまくさプロジェクト	世界遺産の登録が期待される崎津集落をはじめ、ジオパーク等の地域資源を活用した県境を越えた広域観光交流の促進による地域活性化を図る。	
広域連携によるプロモーションの実施	1) 宇土、宇城、天草との広域での観光ガイドの冊子を作成することにより、上天草への宿泊増を図る。 2) 広域連携による熊本空港からの広域ルートを経由する直行バスの開発	
外国人観光客誘致事業	<p>昨今のアジア経済の進展は、目覚ましく、多くの国々で可処分所得の向上による海外旅行ブームが起こっている。現在、オルレを観光資源とした韓国への宣伝活動を行っているところであるが、新たに台湾と香港をターゲットに加え、情報発信を柱とする積極的なプロモーション活動を展開する。また、2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックも視野に、外国人観光客の受入体制を整えるために必要な施設整備に係る費用の一部を負担することで、あらたな外国人観光客の誘致を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップセールス</li> <li>・プロモーション活動</li> <li>・旅行会社との連携</li> <li>・観光素材の磨きあげ</li> <li>・メディア、SNS等での情報発信</li> </ul>	
上天草の自然を活かしたアウトドアスポーツ	<p>上天草の四季折々の自然環境を活かし、通年楽しめるアウトドアイベントを開催するとともに、そのニーズに届けるための計画的なプロモーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光サイクリングの推進</li> <li>・トレッキングの推進(観海アルプス・山ガールなど)</li> <li>・九州オルレの推進(市場調査・済州オルレフェスティバルへの出展など) ※</li> <li>・上天草アウトドアフェスの開催</li> <li>・天草パールラインマラソン大会の充実</li> </ul>	※地方創生先行型で実施
新たな観光素材の磨き上げとPR	<p>①観光素材の磨き上げを行うとともに、それらの効果的なプロモーションを行うためのパンフレットやPVの整備を行う。</p> <p>②客観的な分析や調査の実施</p>	地方創生先行型で実施
26島わたりプロジェクト～裸足で感じる上天草～	26の無人島それぞれにテーマを持たせ、イベントや体験事業等を行う。 例)ホテル、キャンプ、サテライトオフィス、ミュージックフェスなど	推進会議におけるワークショップでの提案

## ウ 集客力を高めるインフラ整備

事業名	概要等	備考
前島地区総合開発事業	本市は、平成26年度から「上天草市第2次総合計画」に即し、基幹産業である観光産業の振興を図るため、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を活用し、コンセプトに「楽園(パラソ)のはじまり 前島」(～地中海の雰囲気あふれる非日常空間の演出～)を掲げ、前島地区(上天草市松島町)を観光需要拡大のための重点整備地域とし、新たな観光客の動機づけとなる集客ゾーンとして整備することとしているところ。 本事業を行うことで、前島地区を基軸とした観光の活性化を図り、産業振興へと繋げ、もって、本市全体の活性化を図るもの。 【主な事業内容】 交差点整備、市道改良、観光交流拠点施設・観光活性化拠点施設整備、駐車場整備 等々	
公衆無線LAN(観光・防災Wi-Fiステーション)の普及	平常時はサイネージなどを活用し観光情報を発信するなど観光目的で使用し、災害時には被災者等の情報収集手段として利用できるようなネットワーク環境を整備する。	

## エ 市民及び観光産業を担う経営者の育成

事業名	概要等	備考
観光人材のレベルアップに向けた研修事業の充実による観光地の質の向上	観光(産業)に携わる事業者のレベルアップにつながるため、研修事業・交流事業を展開する ① 経営者のレベルアップを図るための方策の検討 (出前型のコンサルティング等) ② ワークショップ形式による事業者の相互交流機会の検討 ③ 観光事業のホスピタリティ育成 ※	※地方創生先行型で実施
山村活性化支援交付金事業	山村振興法で指定された振興山村である松島町教良木、内野河内地区において、住民相互の協力により地域資源を活用した所得と雇用の増大への取組を行うもの。本事業により、地場産農林水産物を使った加工品づくりや農村景観づくりを実施し、販売額及び観光入込客数増を目指す。	
観光をプラスした「生産現場を見せる」観光体験・就農体験プログラム開発事業	・農業体験の受け皿となる地域、農業生産法人等と連携し、受入れ体制の構築。 ・農業体験を観光素材として磨きあげ、収穫した農産物を宿泊先で食べられるなどの、体験プログラムを設立する。	
観光資源としての漁業への取り組み漁師ツーリズムの推進～漁師のまち再生(第1次産業を第3次産業へ)～	龍ヶ岳地区の住民が中心となった漁業の第3次産業化による観光拠点づくりによる水産事業の振興を図る。	
道の駅の観光拠点化事業	道の駅「さんばーる」を核とした観光振興の取組を強化する。 ・観光案内所の整備 ・生産者と連携した、体験型・学習型観光の整備	
上天草海道プロジェクト ～そうだ。上天草に行こう！漬ものを食べに(上天草市の漬ものは塩づくりから)～	廃校等を利用した漬物工場を設置。 上天草市＝漬もの となるような、農産物や海産物を使ったいろいろな漬ものを開発	推進会議におけるワークショップでの提案
いのししハンティング特区 ～あなたもハンター、モンスターハンターとコラボ～	猪の被害が拡大している背景のもと、その狩猟を観光素材として活用し、観光の振興を図る。 ・猪肉を使った商品開発 ・狩猟の規制緩和 ・インバウンド向けの狩猟体験	推進会議におけるワークショップでの提案

## 上天草市に住みたくなる！

## ア 移住・定住の促進

事業名	概要等	備考
移住・定住支援情報センターの共同設置	天草全体で連携し、移住希望者が抱く天草というイメージへの総合対応を充実させ、相談から交流、移住というスムーズな流れを確立する。	
移住者定住奨励金	当市は、都市部からの移住者に対する優遇措置が特にないため、何らかの策(インセンティブ)を設ける必要があると思う。	
移住お試し施設整備	移住促進施策として、空き家もしくは不動産業者が管理する物件を活用した中長期滞在型施設(移住お試し施設)を設置する。	
観光おもてなし教室 ～VISIT JAPAN いや こけ住んでGood Night(くつどない)～	外国人旅行者及び外国人移住者の促進 ・空家の未使用率を下げる ・外国人は日本にないスキルや、SNS等を活用した情報発信力を持っている ・インバウンド受け入れ態勢(言葉等)を整備	推進会議におけるワークショップでの提案

## イ 住みよいまちづくりの推進

事業名	概要等	備考
地場農畜産物利用拡大事業	上天草市で生産される豊富な農林水産物の周知と普及、消費拡大を促進するため、学校給食における地場産品材料費補助や、地場産品を活用した市民向け料理教室等を開催する。 また、上天草市で生産量及び生産者数の多い花きの一般消費者向けPRイベントとして”上天草花まつり(仮)”を2月に開催する。生産者直売会やフラワーアレンジ、盆栽の体験イベント、アート書道展示等を行い、上天草産花きのPRと冬期の誘客を図る。	
LINEで市民活動応援事業	LINE@にあるショップカード機能を活用したポイント制度の創設 LINE@上天草市のともだち(市民会員)を対象に、市が行う市民サービス等への参加や活動に対し、ポイントを付与し、一定回数貯まったら商品券等に交換できる制度を創設する。(一般:さんばーる・スパタラソ商品券、学生:図書カード) ポイントを付与する活動例(乳幼児健診や健康診断等受診・献血・ボランティア参加・イベント参加・講座出席・図書貸し出し利用) 500円(1ポイント(25円換算)×20ポイント)×のべ1,000人=500,000円 商品券印刷費 25円×1000枚×8%=27,000円	
避難場所等整備事業費補助事業	自主防災組織を設置した地域の公民館等を避難場所として活用しやすくするための事業に対する補助制度を設けることで、組織結成を促し、共助のための地域コミュニティの活性化とともに、住民主体のまちづくりを支援する。	地方創生先行型で実施

## ウ 子育て・子育てしやすいまちづくり

事業名	概要等	備考
放課後児童健全育成事業	おおむね小学校区を単位として近年における女性の就業割合の高まりや核家族化の進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に児童が安心して生活できる居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全な育成を支援することを目的とする事業	
ファミリーサポートセンター事業	仕事と育児の両立等、安心して子どもを産み育てることができる環境整備による地域子育て支援体制の充実を図る事業	
地域子育て支援拠点事業	公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施するとともに NPOなど多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て中の当事者による支え合いにより、地域の子育て力の向上を目指す事業	
学力向上事業	学校教育指導員を1名増員し、教員の指導時間を倍増させ、指導力が劣る教員の能力を向上させ、児童生徒の学力を向上させる。 教員免許を持った学習支援員を任用し、平均学力が低い学校に派遣し、授業についていけない児童生徒への指導、1クラスの児童生徒が多く、教員の指導がいきわたらないクラスのTT等に活用し、児童を直接指導する。 以上、教員の指導力の向上と、児童生徒の直接指導を併用して、学力向上を図る。	
学校・家庭・地域連携推進事業	未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指す必要がある。 そのため、学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ、授業等における学習補助や教員の業務補助など、学校の要望に応じた学校支援活動を行う体制づくりを推進する。 具体的には、教育支援活動の総合的な調整役を担う地域教育コーディネーターを配置し、学校関係者や地域の団体、関係機関、地域住民等のボランティア、保護者等と連携しながら、活動を行う。	

<p>地域教育力醸成と安心子育て支援の島づくり事業</p>	<p>上天草市における30年後の子育て世代の定住人口増加を目指し、市内在住の児童生徒が将来転出した後に自分の家族と仕事を一緒に連れて帰るために必要な子育て支援環境の充実として、学校、家庭、地域住民、事業者、教育機関、出身在外者等(以下、「推進者」という。)が共助し合う地域教育力醸成を推進する事業。 第1期目を5年間とし、1年目の平成28年度事業の概要は、安心して子育てができる地域教育力の醸成を継続的に実施するために、「ここにあるもの」、「いる人材」、「その魂」で持続可能な事業展開と組織づくりと人材育成を実施し、翌年度からの事業展開の準備を行う。 平成28年度の具体的な事業は4つ。①運営委員会を配置し、実施計画、モデル校選定、地域教育講師選定等の提案、進捗確認を行うこと。②事業の総合的な調整役を担うコーディネーターを配置し、推進者と調整連携し、翌年度以降の実施事業の調整活動を行うこと。③地域教育講師候補者に対するスキルアップ講座を行うこと。④児童に対する定住希望等の意識調査を実施し、5年間のKPI(効果測定)の基礎とする。</p>	
<p>地域との交流によりふるさとの良さを学ぶ場づくり</p>	<p>○学校・家庭・地域連携推進事業を通じて事業の実現を図る。 1)地域人材を活用した学校応援の仕組み(プラットフォーム)づくり …積極的な地域人材による学校の授業等への応援ができる環境づくりとして以下のプログラムを実践するための運営体制を検討する。 ①学校へのプラットフォームの周知(学校の本事業の積極的な活用の促進) ②学校応援の担い手となる地域人材の発掘 ③地域人材の技術・知識を活かした学校応援メニューの開発 …学習応援メニューを開発し学校に提供することで、学校が必要なメニューを選択できるようにし、コーディネートしていく仕組みをつくる。 ④地域人材の育成(ボランティア人材の育成)方法の検討</p>	
<p>上天草高校の応援団づくり(上天草高校の魅力づくり支援)</p>	<p>上天草高校の既存の取組みに対する市民・行政による支援策の検討 ① 上天草高校のPRの支援・協力 ② 市民の上天草高校のファンづくりの支援・協力 ③ 出前授業等、小中学生と高校生のつながりづくりの支援・協力</p>	

## 上天草市で働きたくなる！

## ア 地場産業の強化支援及び育成

事業名	概要等	備考
子どもの地元産業とのつながりづくり	1)子ども観光ガイドの育成 …既存のボランティアガイドや地域資源をよく知る市民を講師に子どもたちへのガイド指導を実践する。 2)マルシェ等の地元産品の販売イベントへの小中高校生の参加 …地元産品(1次産業)への関心を高めるとともに、観光客の上天草の観光に対する外の声を知ることで、観光に対する理解と関心を深める機会になる。 3)漁業体験授業の充実	
起業・創業、中小企業支援機構の構築事業	天草地域を担う人材の地元での起業・創業を目指す起業家の育成・支援と地元中小企業の事業継続や第2創業への支援を行う。	
県外、都市部等の1次産業生産者の人材発掘・育成	○県内外の都市部等での田舎暮らしや非農(漁)家で一次産業に就業を希望する人に対して、上天草市での「緩やかな」就農体験を通じて、「関心⇒実感⇒実践⇒就業」への段階的な就農者獲得につなげるプログラムを開発する。 1)生産者が主体となったインターン体験型プログラム(短期・中期・長期)の開発 …体験型観光から長期的な技術指導等へ希望者のニーズやレベルに応じて生産者が参加して就業者の育成につなげるプログラムの開発 …市やJA、JFが就業者の育成につなげるプログラム開発に係るアドバイスや支援 2)生産者の受け入れ環境づくり …担い手人材の確保を希望する農(漁)家による体験～指導までを実施できる体制の確保 …希望者の滞在施設の確保(受け入れ農(漁)家への民泊、ホームステイが実施可能か検証)	
工業製品等製造企業の新商品開発・販路開拓支援	経済産業省の補助と併せた支援事業を行う。 ・アジア全体を見据えた品質と価格の双方で、競争力を有する技術確立の試作品開発 ・新たな受注獲得に向けた技術開発、実証実験 ・国内外への販路開拓に向けた展示会や商談会への出店支援	
湯島・樋合地区体験型観光拠点整備事業	当市の離島「湯島」と沿岸集落である「樋合地区」の地域資源である「農と海」を活かした体験型観光メニューの開発と、農産物の生産基盤整備を行う。また、その受皿として、地域を含めたネットワーク整備を実施する。	地方創生先行型で実施

## イ 農林水産物の販路開拓

事業名	概要等	備考
上天草ひつつくプロジェクト～田舎の生産者と都会のシェフを繋ぐシステム構築～	○販売・流通拡大に向けた短期～中期シナリオを検討し、戦略的な事業展開を図る。 1)受発注システム構築 生産者及び飲食店等と同じシステムで繋げて(ひつつく)受発注を行うことにより、お互いに顔の見える現場へと変わる。また、最新の商品情報を発信することが可能となり、販売の促進に繋げる。 2)さんばーの事業部の機能強化 …流通・販路拡大に向けた営業活動、地元産品を統合した流通型商品の開発等を実践する機能の強化(専門的人材の育成・確保) 3)市と連動した営業(流通・販売拡大)戦略の強化 ①マーケティング戦略の強化 ②販路・流通チャネル別に見た、販売拡大策の検討 ③市外・県外の販路(飲食店等)を通じた上天草ブランドの情報発信・PR ④国・県の動向と連動した戦略の立案 4)地域内流通を広げるための方策の検討 ①地域内の生産者と旅館・飲食業者とのマッチング機会(交流会等)の検討	推進会議におけるワークショップでの提案
農林水産物販売促進事業	上天草市においては、経済低迷に端を発する本市の衰退を喫緊の課題と捉え、第2次総合計画において観光・産業を最重点戦略をして位置づけ、産業の活性化を図ることとしているところ。本事業においては、「第2次総合計画」の施策11に掲げられ、本市の農林水産物またはそれらを使った加工品等を市外・県外に情報発信することにより認知度向上を図り経済活性化を図るもの。 主に、大都市である関東圏や関西圏、福岡におけるイベントや商談会の開催・参加、アンテナショップの販売促進、WEB等を活用した情報発信を軸とし、食材を通して「上天草ファン」の獲得を行う。また、市内生産者・事業者のスキルアップに繋げるための研修等を行い、多様なニーズに柔軟に対応できる基盤を整える。 【地方創生事業】 1 販売促進スキルアップ研修事業 2 大消費地における販路開拓事業 3 熊本マルシェ美味かモン(アンテナショップ)出展事業 4 市産品コラボギフト商品開発・販売力強化事業	地方創生先行型で実施
農林水産物等ブランド化推進事業	官民一体で組織する「農林水産物ブランド推進協議会」が実施する各種ブランド推進事業や上天草産の農林水産物を使用した加工開発事業の支援及び平成23年度から本格稼働した「上天草市農林水産物加工品開発研究センター」の維持管理等を行うもの。 ・市産品加工品開発支援	地方創生先行型で実施

(参考1)

### 総合戦略における事業概要等

ブラッシュアップ商品販路拡大事業	販売先バイヤー・商品企画プランナー及びデザイナー並びに生産管理等に関する有識者からなる評価会を設置し、消費者目線の“売れる商品づくり”を目指すとともに、市内民間事業者における「成功モデル」を創出する事業である。	地方創生先行型で実施
上天草市物産展示販売会及び商談会事業	流通面で不利である天草地域において、熊本県最大の消費地である熊本市中心市街地は欠かせないターゲットである。そこで、熊本市中心市街地において本市特産物等の展示販売会・商談会を開催するとともに、メディア等を活用したPRを行うことで、農林水産物の販路開拓のみならず、観光客の増加を図る。	地方創生先行型で実施

### ウ 海運業の振興と担い手の育成

事業名	概要等	備考
海運振興対策事業	上天草市の第2次総合計画において、戦略目標3「地域の産業・企業の再生・育成により雇用を生む」が掲げられており、基幹産業のひとつである海運事業においては船員の高齢化が著しく、船員不足が懸念されるため、海運事業の活性化に向けた支援策として新たな船員の確保及び育成を行う事業に対して補助金を交付するもの。 ・新規海技士免許取得補助金 ・定住促進船員就職祝金 ・上級海技士免許取得補助金 ・定住促進船員家賃補助金 ・海運事業設備投資資金利子補給補助金	
内航海運業の担い手確保対策	新たな船員の確保及び育成を行う雇用創出並びにI・Jターンによる定住を促進する事業である。	